

縦のスペースを利用した デバイスづくり

樹木は、縦に成長する。これは、近くの樹木より少しでも多くの太陽光を葉で吸収させ、光合成によって炭素を固定化すること、さらには子孫をより多く残す（花粉や種を遠くまで飛ばす）ための工夫であるといえる。限られたスペースを有効活用し、性能を最大限に高めている本自然現象は、比表面積が重要なパラメーターとなるデバイス設計の一助にもなると考えられる。本稿では、半導体を縦に成長させる技術を概説した後、関連研究についてふれる。・・・